

## 目標達成計画

作成日: 令和7年12月14日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	法人内の行事に限らず、入居者が直接地域の人々と交流できる機会づくりが望まれる。	地域の行事で錦ヶ丘公園で「どんどや」があるので入居者を連れて見学しに行く。	家族の同伴の協力や入居者を連れて同行するスタッフと施設内部での留守番するスタッフも含めての人員の配置。	1ヶ月
2	4	運営に外部の意見を取り入れていくためには、地域代表の委員を増やし、包括を含め委員の出席率を上げるための工夫が必要。	地域代表の委員の増員と出席率の向上。	地域代表の方と交流機会を積極的に増やして運営推進会議への勧誘を行うと同時に開催日を事前のアンケートで決定して出席率を上げる。また、ホームの課題など事前に会議での検討事項も決めて伝えて有意義な会議を実施。	2ヶ月
3	10	家族に3か月に1回実施の普段の様子を写真を送っているが単調なものになっている懸念がある。	家族に写真を送る際は、入居者の様子を知らせるコメントなどを添えるなど工夫でさらなる質の向上に努める。	各入居者に担当スタッフを決めて普段の様子を鮮明に記録してもらい家族により喜んでもらえるような内容が出来る行事やレクリエーションにも力を入れる。	2ヶ月
4	20	感染症対策のため入居者の外出の機会の減少	感染症の状況や職員体制等を勘定しながら、今後は入居者の馴染みの場所に出かける等の取組みの実現。	入居者家族に馴染みの場所の聞き取り調査と同時に外出の際の協力を乞う。職員の増員と教育にも努めてる。	6ヶ月
5	33	現在の指針であれば希望すればホームでの看取りが可能と読み取れるため家族に誤解が生じないよう現状に沿った記載を行う必要がある。	契約書を見直して入居者家族に誤解を招いてトラブルや苦情がでないような記載に訂正。	事前に契約している入居者には再度、家族に現状の職員体制等では施設内に看護師も配置できておらず対応できないが母体が病院のため終末期を迎える際は法人全体で入院するなどして最後まで寄り添うと説明して新しい契約書に用意し再署名。	3ヶ月

6	35	運営推進会議で災害時における地域の協力体制等についての検討。	運営推進委員に協力を取り入れていくために、地域代表の委員を増やし、地域包括職員を含め民生員の参加者を上げる。	地域代表の方と交流機会を積極的に増やして運営推進会議への勧誘を行うと同時に地域の銀行やお店にも有事の際の協力を求めていく。	6ヶ月
7	36	家庭的な雰囲気と、入居者の尊厳を確保する言葉や対応のボーダーラインに苦心している。	排泄時の誘導や確認等の際は声の大きさに留意してプライバシーの確保についての研修を法人で行い継続させていく。	入居者の誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応について、具体的に話し合い、ケアに生かしていく。	3ヶ月
8	49	コロナ禍以降、外出はほとんど行えず天気や気温等を見て、日光浴を兼ねて目の前の中庭に職員と一緒に出来るよう努めている状況。	初詣や季節の花見など季節を味わう外出計画	家族の同伴の協力や入居者を連れて同行するスタッフと施設内部での留守番するスタッフも含めての人員の配置。地域の方と交流を積極的に増やすためにも地域の銀行やお店にもボランティアの協力を求めていく。	3ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。